

2017 Tahmazoフェスティバルin京都 詳細競技ルール

競技1：電動グライダーによる滞空競技

- ・同時飛行を行いますので2.4GHz帯無線機をお願いします。
- ・モーター、翼幅に制約なし、電圧は無負荷時51V以下。
- ・機体には識別コード（模型飛行士、ラジコン操縦士記号など）を表示すること。
- ・参加される方は出来るだけストップウォッチを持参、競技の進行にご協力ください。

競技ルール

1. 予選は2ラウンド、5名のグループで6分MAXで行う。
2. モーターランは30秒。時間内に停止しても良いがそれ以降に再起動すれば計時終了。
3. 合図と同時に発航、計時開始。機体の一部が接地する瞬間までの時間を計る。
4. 予選1Rはゼッケン順に5名ずつフライト。
5. 予選2Rは成績上位から5名ずつフライト。
6. 得点はポイント制で1位20点、2位12点、続いて8点、6点、5点とします。
7. 同着の場合は同着順位の得点を合計し、同着者で等分に分配します。
8. 予選2ラウンドの得点を合計し、予選上位者15人程度で決勝飛行。
9. 決勝は飛行時間無制限。モーターランは30秒。
10. 決勝は翼幅によるハンディキャップ(注※)を設定します。
11. 予選、決勝を問わず機体は変更しても良い。
12. 当日の気象状況、参加人数などにより飛行時間等を変更する場合があります。
13. 飛行上限高度、空域は事前に周知しますので、厳密に守っていただきます。

(注※) 決勝飛行ハンディキャップの計算方法

ハンディキャップは、基準点5.0から翼幅（mm表示の下二桁を切り上げて0.1m単位にする）を引いた値を係数とし、これを飛行時間（秒数）に掛けて得点とします。

例1: 翼幅3714mmの機体を使用した場合は、係数計算用の翼長は下二桁の値14を切り上げて3800mm=3.8mになります。その結果、係数は $5.0 - 3.8 = 1.2$ となります。この機体で10分飛行したとすると600秒で、素点 $600 \times$ 係数1.2で、得点は720点になります。

例2: 翼幅2580mmの機体を使用した場合は、係数計算用の翼幅は2.6mとなり、係数は $5.0 - 2.6 = 2.4$ になります。この機体で5分飛行すると300秒で素点 $300 \times$ 係数2.4で、得点は720点になります。

例3: 翼幅1340mmの機体を使用した場合は、係数計算用の翼幅は1.4mとなり、係数は $5.0 - 1.4 = 3.6$ になります。この機体で5分飛行すると300秒で素点 $300 \times$ 係数3.6で、得点は1080点となります。

競技 2：タイムラリー&タッチアンドゴー競技

- ・2種目の得点合計で順位を決定します。
- ・改正航空法の施行に伴い、2種目とも飛行上限高度は地上150m以下でお願いします。

種目 1:タイムラリーのルール

1. 3分間のタイムラリー。
2. 上空でトリム等を合わせた後、計時スタート。タイミングはジャッジがコールします。
3. スタートから1秒ごとに1点を加点。3分を超えると1秒につき2点ずつ減点。
4. 定点着陸。滑走路に40m間隔でラインを描きます。40m内は20点加点（最初に接地したポイントで判定。着陸姿勢は問いませんが明らかな墜落は加算しません）。
5. 当日の気象状況等により競技時間等を変更する場合があります。

種目 2:タッチアンドゴーのルール

1. 離陸スタートから3分間で滑走路に何回タッチ&ゴーが出来るかを競います。
2. 接地後、次の接地までには180度以上の旋回がなければなりません。
3. 滑走路と直角に40m間隔の平行線を引き、一回のパッシングで必ず両方の線（の延長線上）を超えること。
4. 接地の後、「動力飛行で」進入と反対側の線を超えた時点で1回とカウントする。
5. 1回につき10点を加点。時間内であれば再スタートや部品交換は可能。
6. エンジン機は30%のボーナスポイントを加算します。

お願い：選手の皆さんはスケジュール表・エントリーリストを常に確認し、出番が近づけば本部横に待機して、スムーズな競技進行にご協力願います。

(以上)